



NPO法人 ~だっぴ~

代表理事：柏原拓史  
活動地域：岡山県内  
設立：2013年10月16日  
連絡先：086-206-1250 (代表)  
ホームページ：<http://dappi-okayama.com>  
E-mail：[dappififty@gmail.com](mailto:dappififty@gmail.com)  
(講演のご依頼等はこちらまでご連絡ください)



いい出会いは、いい人生をつくる。



# VISION

一人ひとりの若者が人とのつながりの中で  
自分らしく生きられる社会

# MISSION

若者の可能性と実現力を開拓する



## 代表理事より

パンフレットを手にとっていただきありがとうございます。

NPO法人だっぴの代表をしております、柏原と申します。

NPO法人だっぴの活動は、「人づくり、地域づくり」というテーマで活動を行わせて頂いています。

主に中学生から大学生、若手社会人までの若者を対象にしたキャリア支援を行っていますが、その究極の目指す先は、地域に様々な課題を解決していけるような若者を増やすことです。教育、貧困、子育て、安全など、本当に沢山の課題が存在していますが、これらの課題を私はそのままにして子どもたちにバトンを渡したくはないと思っています。

活動を少しでも多くの方に知っていただき、また応援いただければこれほど心強いことはありません。どうぞ、最後までご覧いただければ幸いです。また、活動へのご参加も心よりお待ちしております。



NPO法人だっぴ  
代表理事 柏原 拓史

## だっぴが挑む社会問題

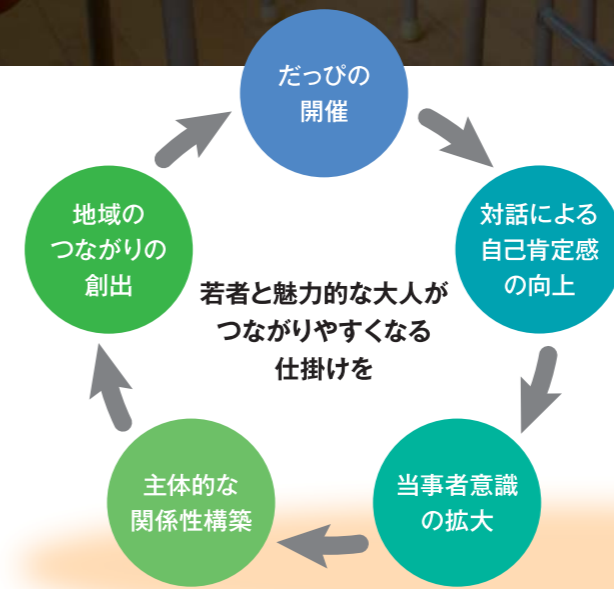
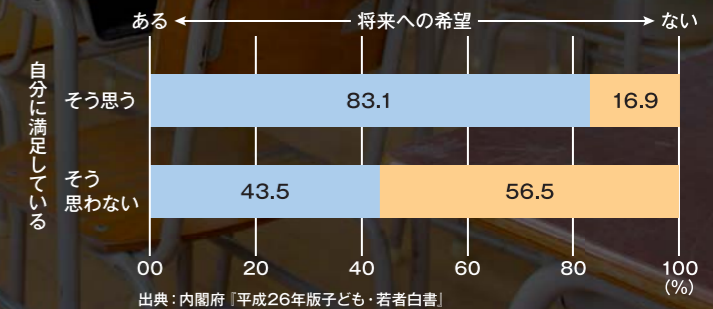
- ⚠️ 地域のつながりの希薄化
- ⚠️ 若者の自己肯定感の低下
- ⚠️ 若者の将来に対する不安の増加

しばしば、日本の若者の自己肯定感は海外と比べて低い数値であると言われます。また、自分に満足していない若者ほど、将来に対する展望も見つけにくくなっています。

見通しのつきにくい未来を生きていく若者に突きつられる「自分は何者なのか」という問い。

地域や人のつながりが失われつつある中では、その問いへのヒントとなる出会いの機会もおおずと少なくなります。

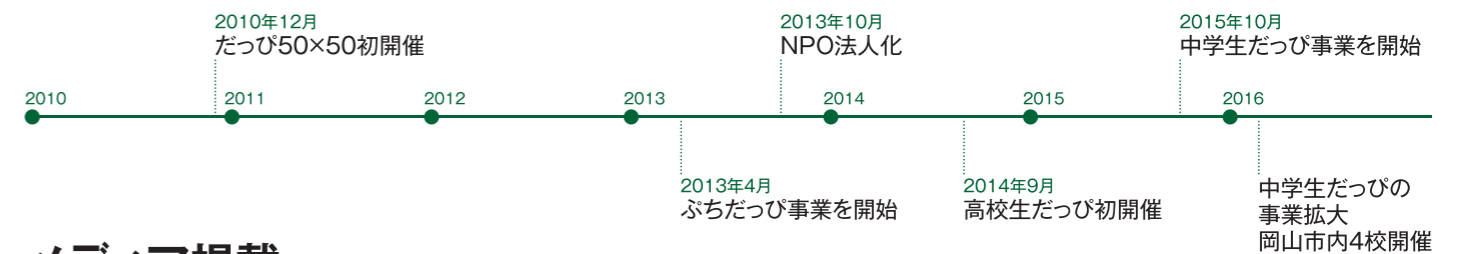
■自分への満足感との関係



## 学び合える交流機会の創出



## これまでのあゆみ



## メディア掲載



メディア掲載実績 (抜粋)

掲載日	タイトル
2015. 6.29	若者と多様な社会人の交流の場に 7月19日、岡山でイベント
2015. 8.10	美作大生、社会人から経験談聞く NPO企画、仕事や目標で議論も
2015.10. 5	瀬戸内市役所でトークセッション 若者らが協働のまちづくり考える
2015.10.24	作東中で進路テーマに特別授業 大学生や保護者と意見交換
2015.10.27	育児支援など地域貢献5団体表彰 生き生き岡山推進賞で備前県民局
2016. 1.20	「いろんな生き方があると知るとを知る」滴一滴
2016. 2.10	18歳選挙権 行動する若者 足運ぶきっかけを

# 中学生だっぴ

- 中学生が様々な経験を持つ先輩に出会う
- 学校と地域がつながるきっかけになる

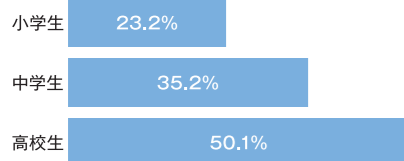


## 「中学生×大学生×地域の大人」の交流

中学生3人~4人に対し、大学生が2人、地域の大人が2人、計7~8人程度のグループを作り、働き方や生き方などについてテーマに沿って自由に話し合います。

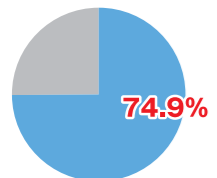
### 活動の背景

「自信を持ってやれることがない」



**自己肯定感の低下**  
中学、高校に上がるにつれて、「自信を持ってやれることがない」と感じる子どもが増えている。

**地域とのつながりの希薄化**  
「ボランティア活動をしていない」



中学生が、人を通じて地域を知る機会はまだ少ない。  
出典：岡山県「青少年の意識等に関する調査（平成27年度）」

義務教育課程である中学生の段階から、現在の自分や将来について考えたり、多様な大人との関係性をつくることで、自分の人生をより前向きに捉えられる。

### プログラムで目指すこと

#### 中学生

- 自分たちの地域で活躍する大人の多様な価値観を知り、地域や社会への興味関心を高める。
- 自分と違う意見があることを知るとともに、それを当たり前のこととして受け入れる力を身につける。
- 生き生きと語りかけてくれる大学生や大人の言葉を聞き、少し先の目標を持つ。

#### 大学生・大人

- 一人一人が、子どもたちにとっての教師として参加することにより、地域の学校教育に対する興味関心を高める。
- 地域参画の機会となり、自己成長できる。

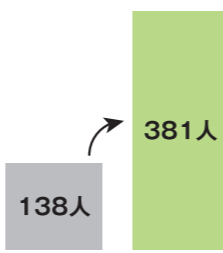
### 生まれた成果

参加前後の変化（参加前後のアンケートで「とても思う」と回答した人数）

#### ①将来への期待

Q.大人になるのが楽しみだ。または、働くことが楽しみだ。

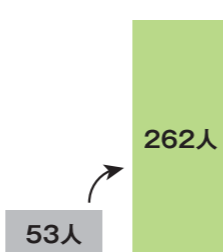
(中学2・3年生661人回答)



#### ②主体性の向上

Q.自分の行動により、自分の周囲の状況を少し変えられるかもしれない

(中学2・3年生661人回答)



#### ③地域とのつながり

Q.地域をよりよくするために、何をすべきか考えたと思う

(中学2年生361人回答)



#### 中学生の感想（一部抜粋）

- 今まで自分になかった考え方とか、普段一緒にいる友達知らない一面をたくさん知ることができて本当に楽しかった
- 進路について色々迷ったり、他の人がどう思っているのか気になることがあったり、モヤモヤしていたが、このような良い機会に参加することができて良かった。

# だっぴ50×50

- 地域で魅力的に生きる大人と若者が出会う
- 若者が自分たちのために自分たちで機会を創る



## 「地域の魅力的な大人×若者」の交流

地域で魅力的に生きる大人50人と、自分のこれからの探し求める若者50人の交流の場。その場を、当事者である若者自身が成長しながら創り上げます。

### コンセプト

何となく日々を過ごしている若者が、仕事・趣味・ライフワークなど様々な形で自己実現している魅力的な大人に出会う場を自らの手で創り上げることで、成長していく。

### プログラムで目指すこと

- 若者が自分たちの地域で活躍する大人の多様な価値観を知り、地域や社会への興味関心を高める。
- 若者が自分自身について話したり、他者の経験を聞くことを通して、自身の考えや価値観と素直に向き合い、自己肯定感を高める。
- 若者が自分たちで一からイベント企画運営することで、成功体験をつくり、行動力や主体性を高める。

### 生まれた成果

- 若者と大人のつながりの創出
- 若者の成長と決意のきっかけ
- 岡山の魅力発見と愛着度の向上

#### 参加者の感想（一部抜粋）

- いろいろな社会人の方の話を聞いて、みなさん職業、生き方はバラバラだけど全員、楽しそうに笑顔で話していて、私もこんな大人になりたいと思った。
- 岡山って何もなかったところじゃないんだ！って思えた。すごいいいところで、すごいいい人たちで…。今日、だっぴに来てよかったです。

# ぷちだっぴ

- テーマを絞った、より深い大人と若者同士のつながり
- 若者の「やってみよう」を実現する

## テーマ別「大人×若者」の交流

医療・教育・国際など、テーマを絞って少人数で開催される、その分野で活躍する大人と若者の交流。自分の専門や関心事について、先輩や同世代の価値観や経験を共有し、より深い学びとつながりを得ることができます。

#### 過去の開催テーマ

- 国際貢献 平和 医療 福祉 教師 公務員 女子会 政治 etc.



## “活躍中” だっぴキャスト・実行委員

対話の中で、中学生と地域の大人との距離を縮めつつ、自らの体験や想いなどを提供するキャスト。

中学生に寄り添いながら、話しやすい空間を作ると言う、とても大切な役割を担います。そのため、大学生キャストは、傾聴と自己開示のファシリテーション講習を必ず受講した上で授業に参加します。



### 参加実績校

岡山大学、就実大学、ノートルダム清心女子大学、中国学園大学、中国学園短期大学、吉備国際大学、岡山県立大学、岡山商科大学、岡山理科大学、くらしき作陽大学、岡山情報ビジネス学院、香川大学など

## だっぴ実行委員の声

### だっぴに参加してどうだった？

石尾 みほ  
(就実大学)



「第6~8回だっぴ50×50」実行委員  
「メディカルだっぴ」リーダー 「中学生だっぴ」キャスト

#### 想いある大人に出会えたことに、感謝

私は今、薬学を学んでいます。これから仕事をする上で、「自分のなんとかしたい人たちってどういう人だろう？」をすごく考えるようになりました。誰かのために全力で働いておられる大人たちに出会えたこと・想いをカタチにする方法を学べたことへの感謝が何よりも大きくて、今度はわたしが、わたしのなんとかしたい人たちのために力や時間を使いたいな、と思うようになりました。

#### 肩の力を抜いて、人に頼れるように

だっぴに関わる以前は、自分を過信したプライドの高い性格だったと思うのですが、だっぴを通して、年齢の垣根を越えて同じ目線で対話できました。鉄の鎧を着た自分に、心をオープンに語り掛けてくれる大人の言葉がずっと心に染みていき、それからは力を抜いて人を信頼できるようになりました。

小寺 甫宜  
(岡山情報ビジネス学院)



「第6・7回だっぴ50×50」実行委員  
「中学生だっぴ」キャスト

#### 小さな成功が、自信に変わる

座学ばかりの授業に、思い描いていた大学生活と違うとモヤモヤしていたときに参加したのがだっぴでした。実行委員としての小さな成功が自信になっていき、このような機会を多くの人に届けたいと思いました。「自分の本当にやりたいことって何だろう。」「この活動は誰のためにやっているのだろうか。」と考えながら、今は地元でチャレンジ始めています。

宇高 秀和  
(岡山大学)



「第5回だっぴ50×50」リーダー  
第3・4回だっぴ50×50」実行委員

## ご支援のお願い

2009年に活動を開始して以来、私たちは多くの若者に地域の魅力的な大人との交流の場と、自身の将来を考える機会を提供してきました。最近では、中学校教育現場での開催など活動の広がりを見せています。地域やその経済状況に関わらず、だっぴを多くの人に提供していくためには、どうしても活動に限界があります。

一つは、学校現場だけではこうした教育機会に投資できる資金が少なく、活動の継続性が大きな課題となっています。私たちは、みなさんのご支援を頂きながら、一緒に若者の未来をつくっていきたくて思っています。

私たちの活動を応援して頂けると嬉しいです。

### ご支援により実現できること



より多くの場所で中学生・高校生だっぴを開催することができます。



学生実行委員など、若者の主体性を育む機会を創出し、地域の教育力を高めることができます。

### ご支援の方法

ご支援の種類	金額	ポイント
賛助会員	年5,000円 (入会金なし)	活動への共感、応援の気持ちを賛助会員として登録頂けます。
企業・団体会員	年50,000円から支援	活動全般の継続に繋がれると共に、若者に支援団体のことも知って頂くことにも繋がれます。

※上記種類の他にも、随時のご寄付も受け付けています。また、寄付したい事業を選んでご支援頂くことも可能です。

### 会員の方には

- ◆ 最新の活動情報のお知らせ
- ◆ 年間の活動報告書のご送付
- ◆ イベント等のご案内 etc.

### お申し込み方法

【HPからのお申し込み】 ➔ 当法人のHP (<http://dappi-okayama.com>) 「ご支援のご案内」をご覧ください。

【E-mailでのお申し込み】 ➔ [dappififty@gmail.com](mailto:dappififty@gmail.com)まで、お名前と支援種類などをご連絡ください。

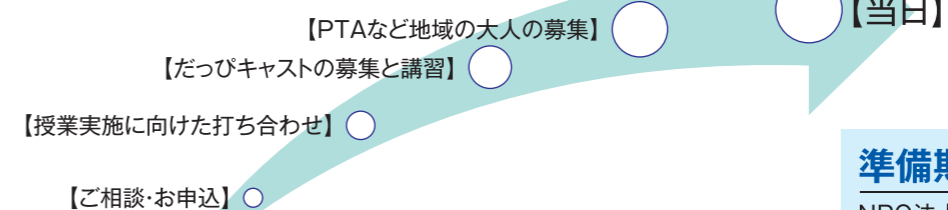
【フォームからのお申し込み】 ➔ 右上のQRコードを開き、必要事項をご送付ください。

お申込み頂いてから一週間以内に事務局より折り返しご連絡させて頂き、手続き等についてお知らせいたします。



## だっぴを一緒に開催しませんか？

「中学生だっぴを自分の地域でもやってみよう！」という方を常時募集しております。中学生だっぴ以外でも、ご要望あれば内容に応じてプログラムを構成できますので、ご興味ある方はぜひお問い合わせください。



**準備期間は約3ヶ月!** ※内容によって異なります

NPO法人だっぴが全面協力のもと、私たちや地域と協働しながら「だっぴ」をつくっていきます。